



2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年10月31日

上場会社名 株式会社エイジス 上場取引所 東
 コード番号 4659 URL <https://www.ajis.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 齋藤 昭生
 問合せ先責任者 (役職名) 財務経理部長 (氏名) 西本 敬 (TEL) 043-350-0567
 四半期報告書提出予定日 2022年11月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	12,281	△3.2	1,227	△32.6	1,297	△30.9	819	△29.1
2022年3月期第2四半期	12,683	△3.5	1,821	△12.0	1,877	△12.1	1,156	△16.5

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 926百万円(△26.9%) 2022年3月期第2四半期 1,267百万円(△9.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	97.31	—
2022年3月期第2四半期	137.40	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	25,031	21,342	84.5
2022年3月期	24,440	21,099	85.5

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 21,149百万円 2022年3月期 20,891百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	80.00	80.00
2023年3月期	—	0.00			
2023年3月期(予想)			—	80.00	80.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	26,000	△0.7	2,700	△31.4	2,790	△31.0	1,800	△20.0
								213.72

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P. 9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)をご覧ください。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2023年3月期2Q	10,771,200株	2022年3月期	10,771,200株
2023年3月期2Q	2,349,015株	2022年3月期	2,354,237株
2023年3月期2Q	8,417,999株	2022年3月期2Q	8,414,347株

- ② 期末自己株式数

- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2022年4月1日から2022年9月30日)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症のワクチン接種の進展に伴う行動制限の緩和等により、段階的な経済活動の再開と共に回復の途上にありますが、ウクライナ情勢の長期化に伴う原油や原材料価格の高騰、急激な円安進行など、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループの主要顧客であります流通小売業におきましても、消費者の購買行動が新型コロナウイルス感染症拡大前の状態に徐々に戻り始めた一方で、急激な物価上昇に伴い低価格志向などの根強い生活防衛意識が一層高まるなど、厳しい経営環境が続いております。

このような状況のもと、当社グループは成長戦略として、チェーンストア産業を変革する新たな価値を創造するために「棚卸会社からリテールサービス会社への事業転換」「グループの柱となる新たな事業の創出」「展開地域をアジアから世界へ拡大」を中期方針として掲げ、事業活動を行ってまいりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高12,281百万円(前年同四半期比3.2%減)、営業利益1,227百万円(前年同四半期比32.6%減)、経常利益1,297百万円(前年同四半期比30.9%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益819百万円(前年同四半期比29.1%減)となりました。

セグメントごとの業績は、以下の通りであります。

I 国内棚卸サービス

国内棚卸サービスは、新規案件の獲得や実施店舗数の増加など売上増加要因はあったものの、一部顧客における棚卸回数の減少および商品在庫数量の減少、料率の見直しなどの影響により、減収となりました。

営業利益では、従業員の処遇改善による賃金の増加に加え、エネルギー価格の高騰などによる経費の増加、売上減少の影響により、減益となりました。売上高は7,517百万円(前年同四半期比5.0%減)、セグメント利益は1,060百万円(前年同四半期比25.5%減)となりました。

II リテールサポートサービス

リテールサポートサービスは、商品補充サービスと店舗改装サービスにおいて既存顧客からの受注店舗数は回復しつつあるものの、昨年度において新型コロナウイルス感染症対策の一環で実施しておりました自治体による飲食店営業状況確認調査業務が終了したことが影響し、減収となりました。

営業利益では、従業員の処遇改善による賃金の増加、売上減少の影響により、減益となりました。売上高は3,802百万円(前年同四半期比1.8%減)、セグメント利益は294百万円(前年同四半期比43.7%減)となりました。

III 海外棚卸サービス

海外棚卸サービスは、中国のゼロコロナ政策の影響により進出地域である上海・北京・広州での事業活動の縮小を余儀なくされましたが、東アジア地域での既存顧客の受注店舗数の増加、アセアン地域での行動制限の緩和による既存顧客からの受注回復に加え、為替変動の影響もあり、増収となりました。

営業利益では、人件費および事業活動に伴う移動経費等の増加により、損失額は増加しました。売上高は961百万円(前年同四半期比7.1%増)、セグメント損失は156百万円(前年同四半期は133百万円のセグメント損失)となりました。

当社グループの売上高の特徴として、国内棚卸サービスの閑散期である第1四半期連結会計期間および第3四半期連結会計期間の売上高は減少し、国内の主要な顧客であります流通小売業界の決算が集中する第2四半期連結会計期間および第4四半期連結会計期間は繁忙期となり売上高が増加する傾向があります。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は25,031百万円(前連結会計年度比2.4%増)となりました。これは、主として現金及び預金が増加したことによるものです。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は3,689百万円(前連結会計年度比10.5%増)となりました。これは、主として未払法人税等が増加したことによるものです。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は21,342百万円(前連結会計年度比1.1%増)となりました。これは、主として配当金の支払いにより利益剰余金が減少したものの親会社株主に帰属する四半期純利益獲得により利益剰余金が増加したことによるものです。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、14,880百万円(前年同四半期比1,976百万円増)となりました。

①営業活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間において営業活動の結果獲得した資金は、1,457百万円(前年同四半期比168.5%増)であります。その主な内訳は、収入要因として税金等調整前四半期純利益が1,295百万円、売上債権の減少額が297百万円、支出要因として法人税等の支払額が185百万円であります。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間において投資活動の結果使用した資金は、45百万円(前年同四半期は235百万円獲得)であります。その主な内訳は、収入要因として定期預金の払戻による収入が166百万円、有価証券の償還による収入が200百万円、支出要因として定期預金の預入による支出が180百万円、投資有価証券の取得による支出が210百万円であります。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間において財務活動の結果使用した資金は、647百万円(前年同四半期比28.8%減)であります。これは、主として配当金の支払額が671百万円によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間および通期の業績予想につきましては、当第2四半期連結累計期間の業績や当社を取り巻く経営環境等を勘案した結果、2022年5月16日に発表しました予想を修正しております。詳細につきましては2022年9月30日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,416,705	15,294,464
受取手形及び売掛金	3,834,272	3,596,164
有価証券	600,542	700,208
貯蔵品	39,696	41,752
その他	295,825	309,281
流動資産合計	19,187,042	19,941,870
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,276,394	1,276,394
その他(純額)	524,955	501,018
有形固定資産合計	1,801,350	1,777,413
無形固定資産		
のれん	49,424	35,303
その他	252,195	218,087
無形固定資産合計	301,620	253,391
投資その他の資産		
投資有価証券	2,645,974	2,546,391
その他	504,169	512,442
投資その他の資産合計	3,150,143	3,058,834
固定資産合計	5,253,114	5,089,639
資産合計	24,440,157	25,031,509
負債の部		
流動負債		
短期借入金	108,546	165,858
1年内返済予定の長期借入金	3,577	2,327
未払金	1,980,558	1,943,377
未払法人税等	219,066	510,829
賞与引当金	394,603	415,768
役員賞与引当金	7,870	4,480
その他	557,405	573,776
流動負債合計	3,271,629	3,616,419
固定負債		
長期借入金	534	-
退職給付に係る負債	7,040	8,365
その他	60,993	64,501
固定負債合計	68,568	72,866
負債合計	3,340,198	3,689,286

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	475,000	475,000
資本剰余金	471,408	474,817
利益剰余金	23,614,380	23,760,195
自己株式	△3,727,600	△3,718,070
株主資本合計	20,833,188	20,991,941
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	63,438	58,150
為替換算調整勘定	△5,135	99,282
その他の包括利益累計額合計	58,302	157,433
非支配株主持分	208,467	192,848
純資産合計	21,099,958	21,342,223
負債純資産合計	24,440,157	25,031,509

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)
売上高	12,683,123	12,281,632
売上原価	8,519,985	8,797,189
売上総利益	4,163,137	3,484,442
販売費及び一般管理費	2,341,326	2,256,529
営業利益	1,821,811	1,227,913
営業外収益		
受取利息	16,654	15,649
受取配当金	4,453	3,880
受取賃貸料	10,568	11,860
為替差益	12,003	15,308
物品売却益	13	9,290
補助金収入	5,474	6,974
その他	13,261	13,568
営業外収益合計	62,429	76,531
営業外費用		
支払利息	1,131	594
賃貸費用	5,076	6,093
その他	489	427
営業外費用合計	6,697	7,116
経常利益	1,877,543	1,297,328
特別損失		
固定資産除却損	0	1,741
投資有価証券売却損	-	583
特別損失合計	0	2,324
税金等調整前四半期純利益	1,877,543	1,295,003
法人税等	651,905	467,910
四半期純利益	1,225,638	827,093
非支配株主に帰属する四半期純利益	69,548	7,922
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,156,089	819,171

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	1,225,638	827,093
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△6,611	△5,287
為替換算調整勘定	48,948	104,813
その他の包括利益合計	42,337	99,526
四半期包括利益	1,267,976	926,619
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,198,333	918,301
非支配株主に係る四半期包括利益	69,642	8,317

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,877,543	1,295,003
減価償却費	139,605	114,882
のれん償却額	14,121	14,121
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△14,492	14,174
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△1,296	△1,216
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△19	533
受取利息及び受取配当金	△21,107	△19,529
支払利息	1,131	594
固定資産除却損	0	1,741
投資有価証券売却損益 (△は益)	-	583
売上債権の増減額 (△は増加)	474,792	297,810
未払金の増減額 (△は減少)	△447,993	△112,694
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△340,374	48,482
その他	△43,337	△35,622
小計	1,638,573	1,618,865
利息及び配当金の受取額	16,270	24,494
利息の支払額	△1,794	△489
法人税等の支払額	△1,110,130	△185,262
営業活動によるキャッシュ・フロー	542,918	1,457,608
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の償還による収入	200,000	200,000
有価証券の売却による収入	105,990	-
定期預金の預入による支出	△96,969	△180,734
定期預金の払戻による収入	111,564	166,516
有形固定資産の取得による支出	△48,890	△38,826
有形固定資産の売却による収入	13	21,675
無形固定資産の取得による支出	△42,955	△14,846
投資有価証券の取得による支出	-	△210,000
投資有価証券の売却による収入	-	1,768
差入保証金の差入による支出	△14,675	△11,611
差入保証金の回収による収入	23,298	21,939
その他	△1,563	△1,563
投資活動によるキャッシュ・フロー	235,812	△45,683
財務活動によるキャッシュ・フロー		
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△279,980	△21,563
短期借入金の純増減額 (△は減少)	17,478	48,875
長期借入金の返済による支出	△1,768	△1,784
自己株式の取得による支出	△140	-
配当金の支払額	△637,976	△671,312
非支配株主への配当金の支払額	△7,945	△2,124
財務活動によるキャッシュ・フロー	△910,332	△647,910
現金及び現金同等物に係る換算差額	48,637	72,765
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△82,964	836,780
現金及び現金同等物の期首残高	12,987,449	14,043,865
現金及び現金同等物の四半期末残高	12,904,485	14,880,645

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	国内棚卸サービス	リテイルサポート サービス	海外棚卸サービス	合計
売上高				
外部顧客への売上高	7,911,484	3,873,671	897,967	12,683,123
セグメント間の内部売上高又は振替高	34,453	32,247	—	66,701
計	7,945,938	3,905,918	897,967	12,749,824
セグメント利益又は損失(△)	1,423,143	523,060	△133,694	1,812,510

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	1,812,510
セグメント間取引消去	9,300
四半期連結損益計算書の営業利益	1,821,811

II 当第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	国内棚卸サービス	リテイルサポート サービス	海外棚卸サービス	合計
売上高				
外部顧客への売上高	7,517,722	3,802,603	961,306	12,281,632
セグメント間の内部売上高又は振替高	35,885	7,495	—	43,380
計	7,553,607	3,810,098	961,306	12,325,013
セグメント利益又は損失(△)	1,060,501	294,626	△156,587	1,198,540

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	1,198,540
セグメント間取引消去	29,372
四半期連結損益計算書の営業利益	1,227,913

以 上